

「体験グローバル」課題研究発表会を行いました。

広島大学附属福山中・高等学校 研究部

4年生を対象に実施した「体験グローバル」では、「技」「特許」「環境」「食」の4つをテーマに、4月～10月の前半はそれぞれのテーマに関して教員による講義と、広島大学やご協力いただいている企業から講師をお招きした講演を実施しました。それを通じて、テーマに関する知識や、見方・考え方を生徒は身に着けました。

11月以降、生徒は5～6人の班を編成し、4つのテーマから1つを選んで課題研究を進めました（各テーマの班の数が均等になるよう調整を行いました）。班によっては、課題研究に関連する企業や施設に冬休みなどを利用して実地調査に行ったり、企業や生徒にアンケートを実施したりして課題研究を進めました。

2016年2月12・19日 課題研究クラス発表会

体験グローバルの時間を2時間使って、各クラスで課題研究の発表会を行いました。発表に対する質疑も活発に行われ、それぞれの課題研究が聞く側にとっても興味・関心を引くものであることが分かりました。各班の発表に対しては相互評価を行い、その評価やコメントをもとに加筆・修正した最終レポートが提出されました。また、その相互評価で評価の高かった班（各テーマから2班、合計8班）が「体験グローバル全体発表会」と「SGH成果発表会」で代表として発表を行いました。



タブレット端末で情報収集する様子



実地調査を行っている様子



クラスでの発表会の様子

2016年2月26日 体験グローバル全体発表会

当校のマルチメディアホールで4年生全員が参加して、クラス発表で高い評価を得た4班が発表を行いました。発表した班の課題研究のテーマは以下のようでした。

「技」：府中の技術ペレタイザーが世界の空腹を救う —廃材系・未利用バイオマスの可能性—

今日、世界中で食糧不足がさげばれている。食料がバイオエタノールとして大量に消費されていることを問題視する一方で、府中にある北川鉄工所が、農業廃棄物を圧縮して固形燃料にする技術を持っていることに注目し、食糧問題の解決につながるかどうかを課題研究した。

「特許」：高校生でも特許がとれるか

小学五年生の女の子が特許を取ったというニュースを知って、「自分たちのアイデアが特許として認められるか」について、商工会議所が行っている弁理士の無料相談に参加し、自分たちのアイデアが特許になる可能性について研究した。



「環境」：因島の八朔はなぜ有名になったのか

「はっさくゼリー」や「はっさく大福」といった“因島のはっさく”が身近にある一方で、生産量を見ると実は和歌山の方が多い。どうして“因島のはっさく”が有名なのかを因島への実地調査なども行って進めた。

「食」：福山の特産品 —福山のお好み焼きを考えてみる—

広島県内には、地域独自のお好み焼きを作って町おこしを行っている例がある。福山で独自のお好み焼きを作るとしたらどのような食材を使ったお好み焼きになるか実際に作り、食べ物と町おこしについて経済的な面も含めて課題研究した。

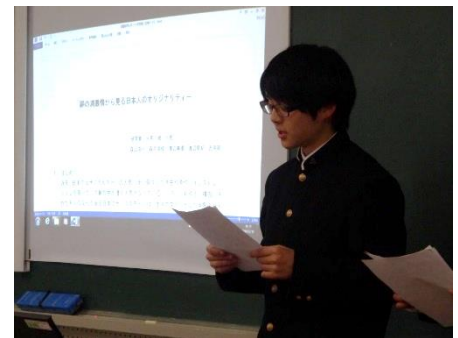


課題研究やクラス発表・全体発表について生徒は以下のように振り返りました。

- 課題研究の時間はちょっとだったけれど、「言葉をより分かりやすく相手に伝えるためにはどうしたらいいか」などすごく細かいところまで考えるのが大変だった。けれど、みんなの前で発表できてよかった。きちんとしたレポートの書き方も学べた。1つの情報から考えをより深められるようになったと思う。
- より相手に伝えるために、表現の仕方を考えたり、適切なデータを収集したりすることを考えられるようになった。
- レポートの作成が楽しかった。レポートの書き方がすごく勉強になったし、自分の考えを文字にして表すことの難しさをレポートの作成中に改めて感じた。
- いろいろな人の成果を見ることができて楽しかった。周りの人と比べると、「自分はまだまだだなあ」と見習わなければいけないと思った。
- 課題研究に際して、データを集め、どのような論理でレポートを書くか考え、プレゼンのスライドの構成を考えるのは自分にとってとても有益だった。
- こんなに大がかりな研究になるとは考えていなかったので驚いた。自分たちの地域の問題や、いい点を見つけてもそれをグローバルに考えるとなるとかなり難しかった。なので、発表を見て世界と結びつけている班を見てとてもよく考えられていると思った。



実地調査を行っている様子



クラスでの発表会の様子

「体験グローバル」の学習を通じて生徒は以下のように振り返りました。

- 自分は自分の興味がある分野にしか目を向けてなかったが、社会の構成員の一員として生きていくためには教養として、環境や文化の事柄についても学ばなければいけないと思った。そしてそのような経験をするこの重要性に気付かされた。
- ただ1つの面だけを切り取って「良い・悪い」を判断してしまうのではなく、それがどういう原因や性質が絡まっているのかを見極めて「良い・悪い」だけでない物事の本質を見出すのが大切だと思った。これからはもっと物事に対して視点を広く・深く持てるようになりたい。
- 今までは「興味が無いから…」という理由でいろんなことに積極的な姿勢とってこなかったが、体験グローバルを通して「自分が知っていることが関連しているかもしれない」と思うようになり、いろんなことに興味を持つようになった。
- とにかく視点のおき方が人それぞれで、人の話を聞いたり、議論したりというのが面白かった。
- 必要な情報を集めて、それに対する考察や自分の意見をまとめるのは難しかった。色々な視点から見るのが大切だと思った。偏った視点から見ると解決策が見つからないが、視点を変えると解決策が見つかるということがよくあった。「グローバル化」の意味を少し理解できた気がする。
- 現代社会が抱える様々な分野の問題について、いろいろな角度から考えることができ、また多くの人の考えを聞くことができていい経験になった。



全体発表会の様子



全体発表会の様子